

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	博愛福祉会	代表者	大西 弘文	法人・事業所の 特徴	花と緑に囲まれた自然豊かな環境の中、犬や猫と共生できる家庭的で明るい雰囲気である。事業所の前には畑があり、保有能力を活かして季節の野菜や花を育てる事は、ご利用者の日常生活に潤いを与えている。また、収穫した野菜を使った料理が食卓に並ぶことは皆様の楽しみの一つである。
事業所名	サンホームみかづき 志文の里	管理者	光森 るみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	人	2人	1人	人	3人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	ご利用者様の生活歴を知り個別ケアの充実につながるよう個人史シートを活用する。	ご家族様にご協力いただき、ほぼ個人史シートの記入が完成し、個々のニーズにあったサービスに繋げている。	異議はありません。	個人史シートを充実させ、ニーズに沿ったケアとなるようPDCAサイクルに基づき円滑に行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	環境整備を徹底し、ご利用様に快適に過ごして頂けるように努める。	居室・リビング・トイレ等は毎日欠かさず清掃できた。観葉植物や季節に合わせた作品を飾るなど癒しの空間づくりに努めた。	異議はありません。	環境整備を徹底し、ご利用様に快適に過ごして頂ける、癒しの空間づくりに努める。
C. 事業所と地域のかかわり	接遇マナーの中でも特に言葉遣いに力を入れて取り組み、その場で注意し合える関係性を構築する。	GHとの合同会議で研修を行った。また毎月の接遇マナー週間に立てた目標について職員個々に達成状況を振り替り、共有した。	異議はありません。	仕事中は「です」「ます」を基本とした言葉遣いを徹底する。また、来所者に対し笑顔で気持ちの良い挨拶をする。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	感染対策を行いながら、外出の機会を確保する。また、散歩やテラスの活用により外に触れて頂く。	感染症の予防対策(体調確認・手洗い・手指消毒・マスクの着用・密の回避など)を徹底した上でドライブ・外食・地域行事に参加できた。	異議はありません。	ご本人・ご家族のご要望を伺い、感染状況に注意しながら、地域へ外出する機会を確保する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の高齢者の情報を伺い、素早く柔軟に相談や受け入れが叶うよう事業所間で共有する。	毎週開催の事業所間ミーティングに参加し、運営推進会議で頂いた意見を伝達し速やかに対応することができた。	異議はありません。	運営推進会議の場で、地域の困りごとや高齢者の現状を伺う時間を設ける。また、相談があった際は、関係事業所に速やかに報告し対応する。
F. 事業所の防災・災害対策	避難訓練(自然災害時・火災時)を継続して実施する。また、地域の方にも参加して頂ける避難訓練計画を作成し実行する。	避難訓練(火災時)を実施している。また、施設で作成している防災行動基準カードを熟知出来るよう、GHとの合同会議等で声掛けを行った。地域の方に参加して頂く避難訓練の実施は出来なかった。	異議はありません。	避難訓練(自然災害時・火災時)を継続する。都度反省点を共有し次回へ活かす。また、防災行動基準カードを熟知し、緊急時に慌てず行動できるようにする。